

厚生労働省委託事業

就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業

～トラックドライバーになるための運転免許取得支援プログラム～ 説明会を開催

大阪府トラック協会は12月11日、大阪市中央区のエル・おおさか（大阪府立労働センター）において、厚生労働省委託事業の「就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業～トラックドライバーになるための運転免許取得支援プログラム～」の説明会を開催した。説明会は求職者向けの第一部と、事業者向けの第二部に分けて行なわれ、第一部は求職者22名が、第二部は会員事業者から16名が参加した。

この事業は、全日本トラック協会が厚生労働省から委託を受け、今年度から令和4年度まで実施することとなっているもので、就職氷河期世代（35歳～54歳）の求職者に対し、準中型、中型、大型のいずれかの運転免許取得とトラック運送業に関する基礎知識の講習等を無料で提供し、さらに求人のあるトラック運送会社とのマッチングにより、正社員としての就職を支援するもので、会員事業者にとっても、免許取得者を採用できる人

材確保の一助となる機会となっている。

説明会では、本事業の業務協力事業者であるアデコ株式会社の担当者により、就職氷河期世代についての説明をはじめ、本事業の概要、本事業の流れ（求人票登録、職場見学・職場体験の受け入れ、ミニ説明会への参加、採用活動等）について説明が行なわれた。

（事業の詳細については、大ト協ホームページトップページからバナーによりリンクしております特設サイト、もしくはトラック広報10月号P.18「トラ坊のご存知ですか？」コーナーをご覧ください）

